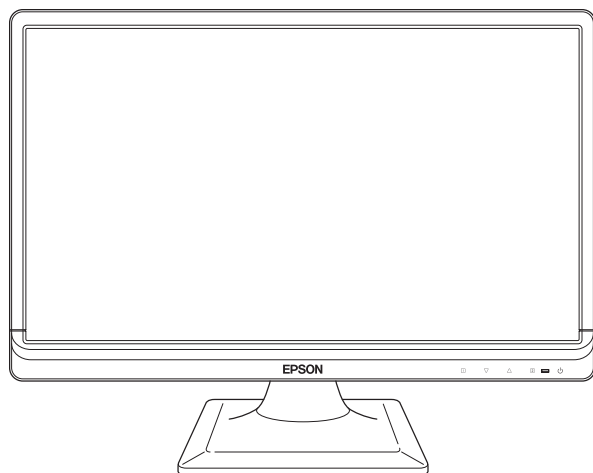


21.5 型ワイド液晶ディスプレイ

取扱説明書（設置編）



LD22W83L

梱包品を確認する	2
各部の名称	4
コンピューターと接続する	6
電源の入れ方 / 切り方	12
安全にお使いいただくために	13
情報一覧	裏表紙

ご使用前に


- ご使用の際は、必ず本書をよくお読みください。
- 本書は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見られる場所に保管してください。
- 本機の詳しい操作方法や調整方法については、取扱説明書（操作編）をご覧ください。
電子（PDF）で提供しています。

<http://www.epsondirect.co.jp/download/manual/c80413000.pdf>

※ インターネット接続が必要です。



梱包品を確認する

はじめに梱包品がそろっているか確認します。万一、梱包品の不足や仕様違いがありましたら、商品お届け後 8 日以内に担当窓口までご連絡ください。詳しくは、 『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



参考

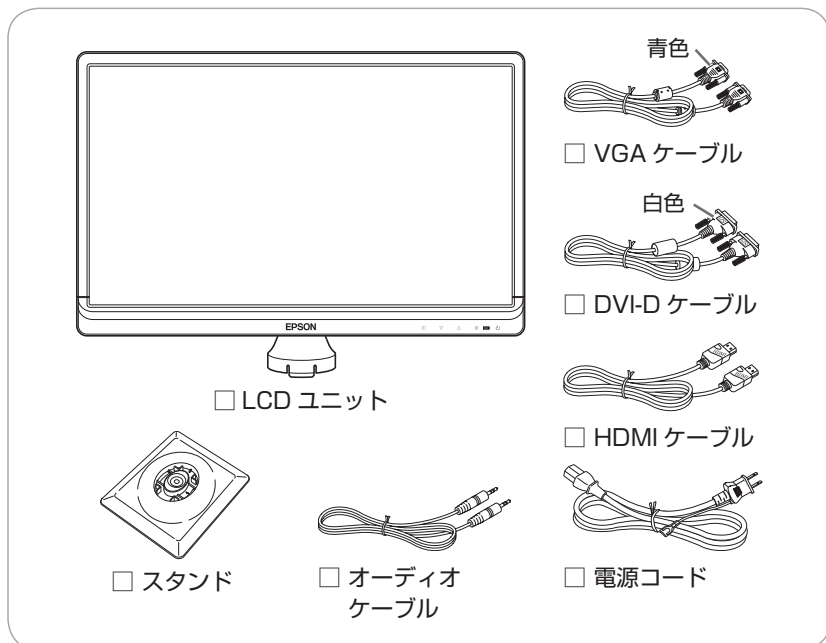
保証書について

当社では、ご購入日や保証サービスなどのお客様情報をデータベースで登録・管理しています。このため、保証書は添付されていません。

1

ハードウェアを確認する

ハードウェアがそろっているか、確認してください。



2

マニュアルを確認する

マニュアル類がそろっているか、確認してください。

- 取扱説明書（設置編）（本書）
- サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）

取扱説明書（操作編）は電子（PDF）で提供しています。

<http://www.epsondirect.co.jp/download/manual/c80413000.pdf>

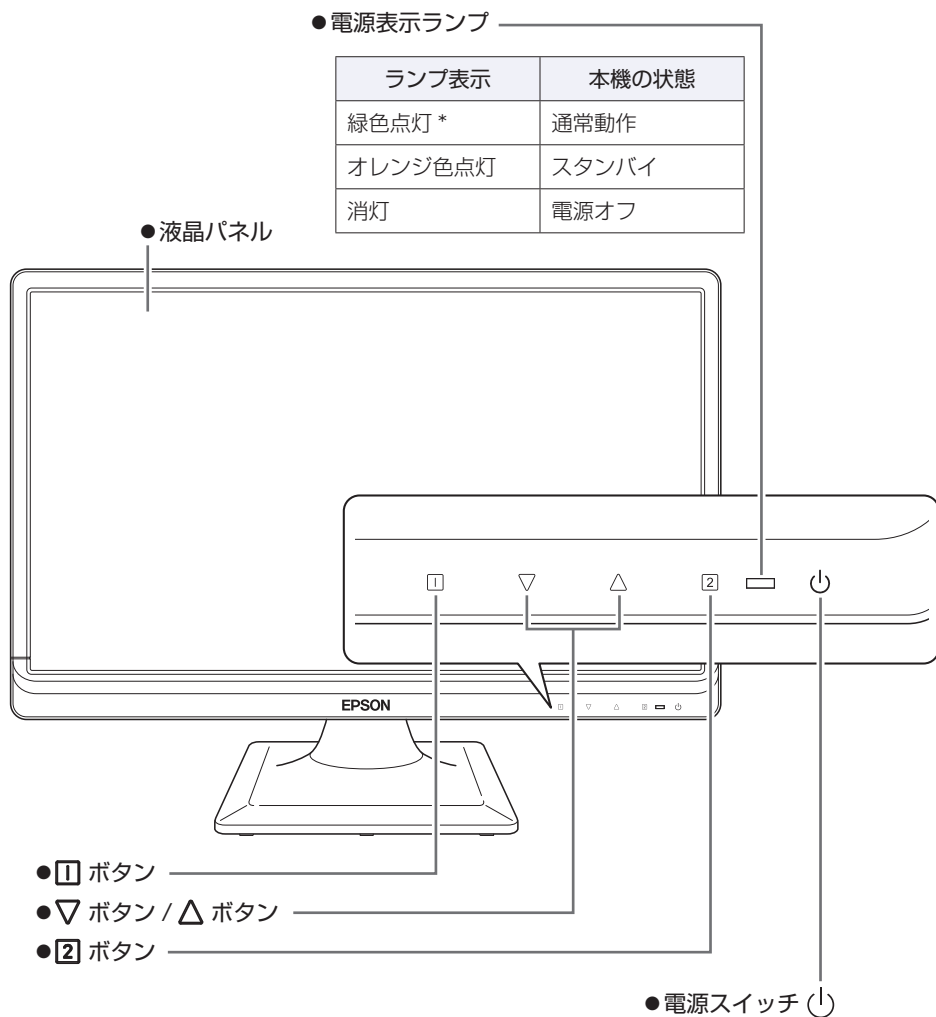
※ インターネット接続が必要です。



各部の名称

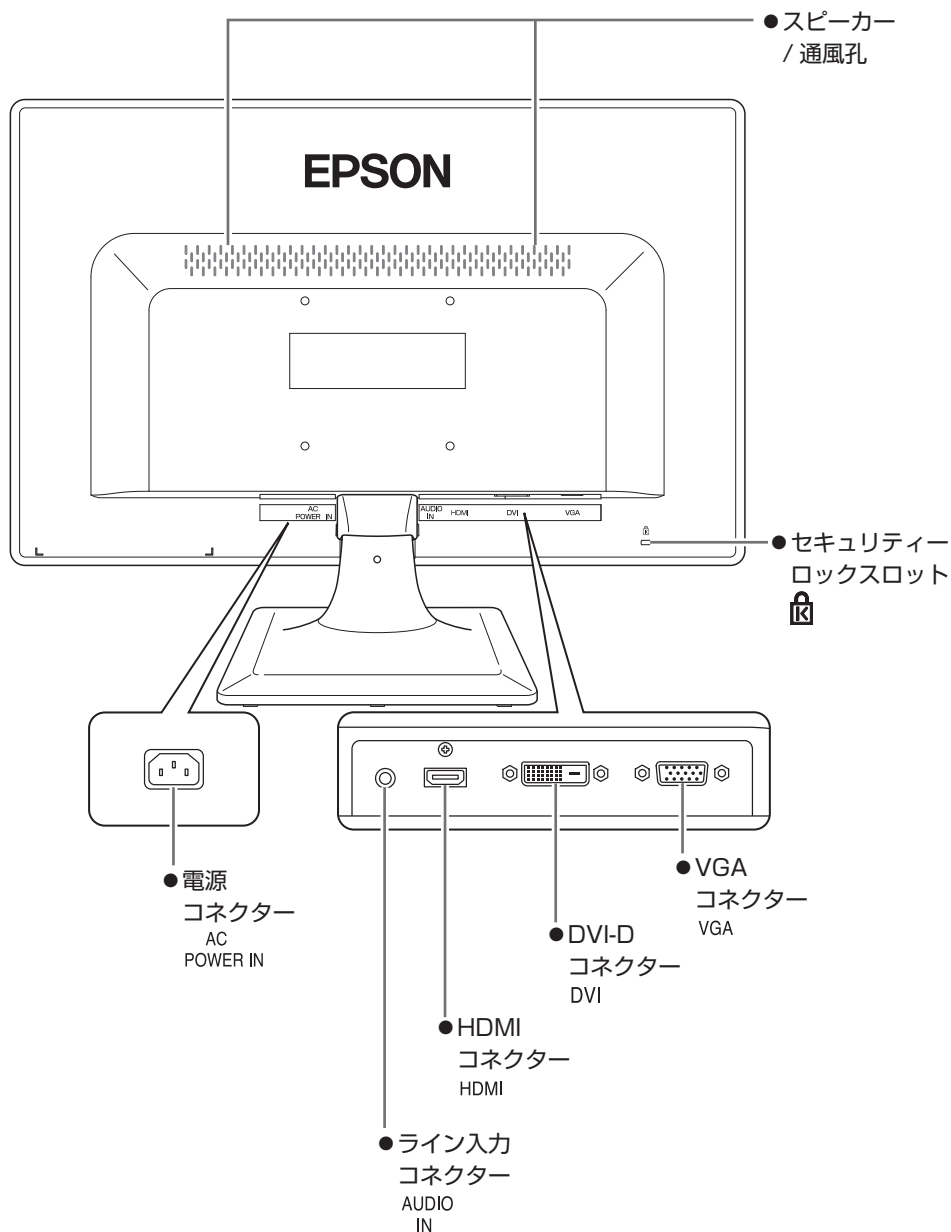
本機の各部の名称を記載します。

前面



* 「LED OFF」 に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。
「LED OFF」 設定については、『取扱説明書（操作編）』（PDF）をご覧ください。

 p.3



コンピューターと接続する

本機を設置し、コンピューターと接続して、使用できる状態にする手順を説明します。

接続するコンピューターのマニュアルもあわせてご覧ください。

設置における注意



- 不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
- 本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。
 - ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
 - ・じゅうたんや布団の上に設置しない。
 - ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。

各種コード（ケーブル）接続時の注意



- 本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
- 電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。
家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。
- 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、火災の原因となります。
 - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
 - ・電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
 - ・コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



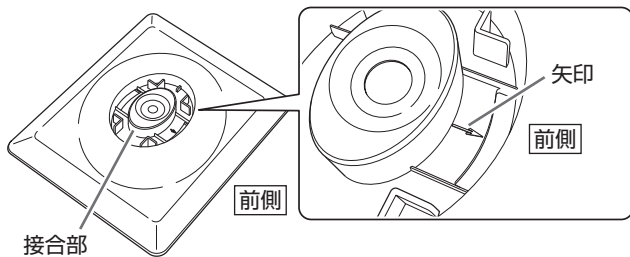
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 各種コード（ケーブル）は、本書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。

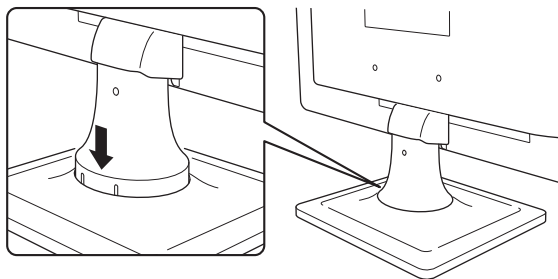
- 1** 設置場所（机などの丈夫で水平な台の上）にスタンドを置きます。

2 LCD ユニットのスタンドにセットします。

- 1 スタンドと LCD ユニットの向きを確認します。
スタンドの前側は、接合部にある矢印で確認できます。
矢印の先が前側です。







- 2 スタンドの接合部に LCD ユニットの突起部を差し込み、カチッと音がするまで、しっかりと押し込みます。



3 コンピューターの出力コネクタ*を確認し、接続に使用するケーブルを選択します。

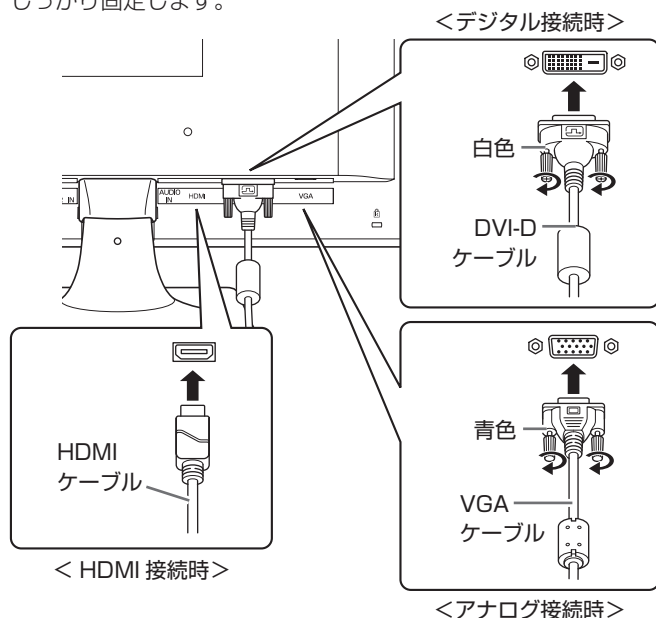
* グラフィックスボードをお使いの場合は、グラフィックスボードの出力コネクタ—

コンピューターの出力コネクタ—	接続方法	使用ケーブル
 < DVI-D コネクタ— >	デジタル接続	DVI-D ケーブル
 < DVI-I コネクタ— >		
 < HDMI コネクタ— >	HDMI 接続 (デジタル画像+サウンド)	HDMI ケーブル
 < VGA コネクタ— >	アナログ接続	VGA ケーブル

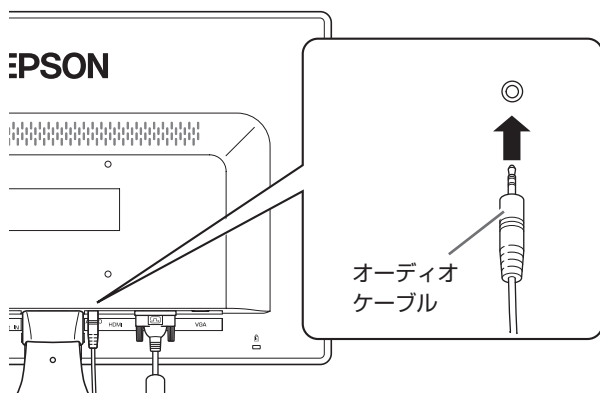
デジタル接続の方が、アナログ接続よりも鮮明な画像を表示できます。

4 選択したケーブル (1 本) で本機とコンピューターを接続します。

ケーブルのプラグを本機とコンピューターのコネクタ—に差し込みます。DVI-D ケーブルや VGA ケーブルの場合は、プラグ両側のネジを締めて、しっかり固定します。

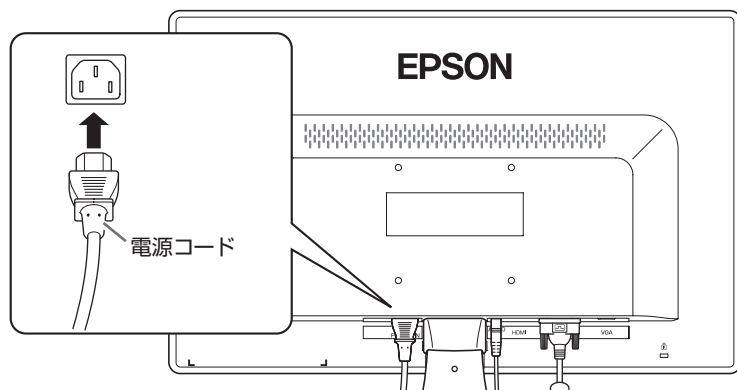


- 5** 本機のスピーカーから音声出力する場合は、オーディオケーブルで本機のライン入力コネクタ（ AUDIO IN ）とコンピューターのライン出力コネクタを接続します。



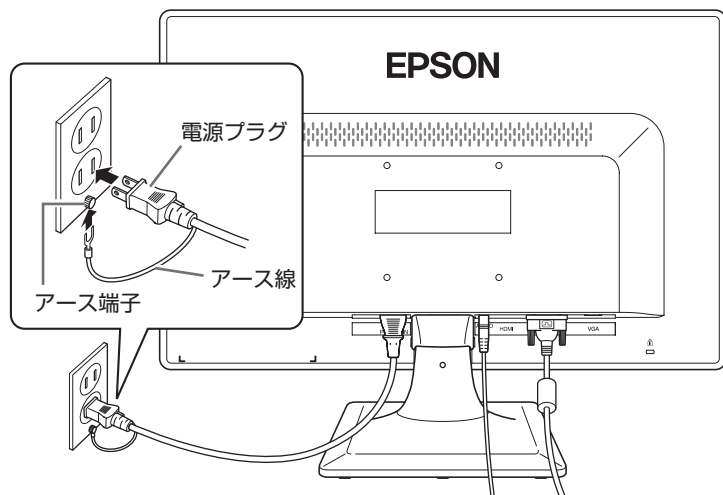
※ HDMI 接続の場合、この作業は必要ありません。

- 6** 同梱の電源コードを、本機の電源コネクタ（ AC POWER IN ）に接続します。



7**電源コードを電源コンセントに接続します。**

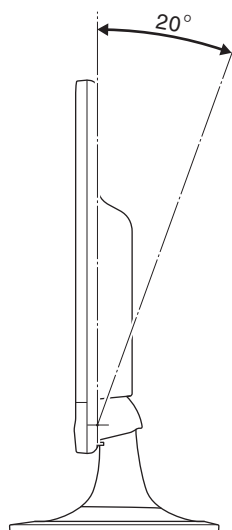
電源コードのアース線は、必ずアース端子に接続してください。



これでコンピューターとの接続は完了です。

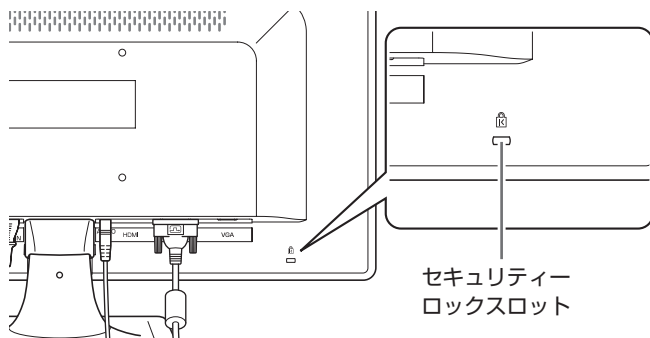
画面の角度を調整する

本機は後方に約 20° まで傾けることができます。



セキュリティーロックスロットを利用する

本機背面の「セキュリティーロックスロット」には、市販の盗難抑止用ワイヤー（セキュリティーロック）を取り付けることができます。



電源の入れ方 / 切り方

本機の電源の入れ方、切り方について説明します。コンピューターの電源の入れ方、切り方は、コンピューターのマニュアルをご覧ください。


電源を入れる

電源を入れる手順は次のとおりです。

1 本機の電源スイッチ (⏻) をタッチして、電源を入れます。

本機の電源表示ランプが緑色に点灯します。



※ 「LED OFF」 に設定している場合、ランプは緑色点灯しません。



「LED OFF」 設定については、『取扱説明書 (操作編)』 (PDF) をご覧ください。  p.3

2 コンピューターの電源を入れます。

画面が表示されます。

※ 本機への入力信号が無い場合、画面は表示されず、電源表示ランプがオレンジ色に変わります。ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

※  または  ボタンのどちらかをタッチすると、音量を調整するメニューが表示されます。

 ボタン /  ボタンを同時にタッチすると、ミュート (消音) になります。

電源を切る

電源を切る手順は次のとおりです。

1 コンピューターの電源を切ります。

画面表示が消え、本機の電源表示ランプがオレンジ色に変わります。

2 本機の電源スイッチ (⏻) をタッチして、電源を切ります。



本機の電源表示ランプが消灯します。

※ 電源連動機能を設定している場合は、コンピューターで作業中のデータを必ず保存してから本機の電源スイッチをタッチして電源を切ってください。


安全にお使いいただくために

本書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために絵表示が使われています。




その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 障害や事故の発生を防止するための禁止事項の内容を表しています。

	製品の取り扱いにおいて、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
---	-------------------------------------

- 障害や事故の発生を防止するための指示事項の内容を表しています。

	必ず行う事項（指示、行為）を示しています。
	電源プラグをコンセントから必ず抜くことを示しています。
	アース端子を必ず接地（アース）して使用することを示しています。

警告

電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
取り扱いを誤ると、感電・火災の原因となります。



- 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。
- 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしない。
- コンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持つ。

電源プラグは、定期的にコンセントから抜いて、刃の根元や刃と刃の間を清掃してください。



電源コードのたこ足配線はしないでください。

発熱し、火災の原因となります。

家庭用電源コンセント（交流 100V）に接続してください。



本機には、必ず同梱された電源コードを使用してください。また、同梱された電源コードは、ほかの製品に使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

破損した電源コードを使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。



- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に重い物を載せない。
- 発熱器具の近くに配線しない。
- 電源コードを束ねた状態で使用しない。

電源コードが破損したら、修理受付窓口にご相談ください。

修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



本機は、次のような異常状態のまま使用しないでください。

感電・火災のおそれがあります。

- 異臭や異音がしたり、発煙したりしている。
- 触れないほど熱い。
- 割れや変形があるなど、破損している。

万一、異常状態になった場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



通風孔など開口部から、本機内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告



水のかかる場所で使用したり、本機の上に水などの入った容器を置いたりしないでください。水などの液体や異物が本機内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

万一、本機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理受付窓口までご連絡ください。修理受付窓口への連絡方法は、[別紙](#)『サポート・サービスのご案内（ディスプレイ用）』をご覧ください。



本機の分解や改造はしないでください。

けが・感電・火災の原因となります。



アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物質または可燃性ガスのある場所では使用しないでください。

また、本機の内部や周囲で可燃性ガス含有のスプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



電源プラグのアース端子を接地（アース）してください。

接地しないで使用すると感電の危険があります。

アースは必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。

また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。



アース端子は、絶対にガス管に接続しないでください。

火災の原因となります。



アース端子をコンセントに挿入または接触させないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



小さなお子様の手の届く所に設置、保管しないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。

⚠ 注意



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。



本機の通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと、内部に熱がこもって本機が熱くなり、火傷や火災の原因となります。設置の際は、次の点を守ってください。

- ・押し入れや本箱など風通しの悪いところに設置しない。
- ・じゅうたんや布団の上に設置しない。
- ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない。



各種コード（ケーブル）は、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の原因となります。



交流 100V 以外の電源は使用しないでください。
交流 100V 以外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグを触らないでください。
感電の原因となります。



液晶ディスプレイが破損して内部の液体が漏れた場合は、液体をなめたり、触ったりしないでください。
火傷や化学物質による被害の原因となります。
万一、液体が皮膚に付着したり、目に入ったりした場合は、流水で十分に洗い、医師に相談してください。



本機を移動する場合は、電源を切り、本機からすべての配線を取り外してください。
コード（ケーブル）などが破損し、火災・感電の原因となります。また、コード（ケーブル）などが引っかかり、けがの原因となります。



連休や旅行などで本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。

MEMO

MEMO

MEMO

情報一覧

本機に関する情報は次の場所に記載されています。
※電子情報の閲覧にはインターネット接続が必要です。



: 紙



: 電子

場 所	情 報
 取扱説明書（設置編） （本書）	<ul style="list-style-type: none">● 添付品● 各部の名称● コンピューターとの接続方法● 電源の入れ方 / 切り方● 安全上の警告 / 注意
 取扱説明書（操作編） http://www.epsondirect.co.jp/download/manual/c80413000.pdf	<ul style="list-style-type: none">● 画面の調整方法● お手入れ方法● トラブル解決情報● 本機の仕様
 ユーザーサポートページ http://www.epsondirect.co.jp/support/	<ul style="list-style-type: none">● サポート情報全般
 サポート・サービスのご案内	<ul style="list-style-type: none">● 保証規定● お問い合わせ窓口